

科目名	レクリエーション演習 I						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
演習	選択	1	2	前期			
担当者名	弘中 陽子	関連する資格	レクリエーション・インストラクター資格必修 公認障がい者指導員資格必修 保育士資格選択				
授業概要 レクリエーションの理論を踏まえたうえで、ホスピタリートレーニングやアイスブレイキング等の体験を通して、レクリエーション支援者としてより良いコミュニケーションを築くための方法について理解する。また、様々なアクティビティについて基本的な展開方法を体験的に学びグループ活動を行う。							
到達目標 ○コミュニケーションを取る為に必要な態度・行動を習得する。 ○相互作用を引き出し、活用する手法を理解する。 ○様々なアクティビティの体験を通して、アクティビティの楽しみを理解しグループ活動を行う。			成績評価方法 受講態度・レポート・レクリエーション指導案作成 提出による総合評価				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）							
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○	○	10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○			30
演習	○	○	○	○	○	○	30
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) ホスピタリー・トレーニングについて①							
2) ホスピタリー・トレーニングについて②							
3) ホスピタリー・トレーニングについて③				グループワーク			
4) アイスブレイキング①							

5) アイスブレイキング②	
6) アイスブレイキング③	グループワーク
7) 目的に沿ったアクティビティの選択	
8) アクティビティの展開方法①	
9) アクティビティの展開方法②	グループワーク
10) 相互作用の活用方法①	
11) 相互作用の活用方法②	グループワーク
12) 乳幼児に合わせたアクティビティの体験①	
13) 乳幼児に合わせたアクティビティの体験②	グループワーク
14) 児童・障がい児（者）に合わせたアクティビティの体験①	
15) 児童・障がい児（者）に合わせたアクティビティの体験②	グループワーク
授業外学習	
<ul style="list-style-type: none"> ・授業の一環として、地域の子どもや障がい児(者)と関わる。 	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<ul style="list-style-type: none"> ・資料配布 ・「レクリエーション支援の基礎 楽しさ・心地よさを活かす理論と技術」 (日本レクリエーション協会) 	<ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション概論 ・レクリエーション演習Ⅱ ・レクリエーション実習
備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・運動の出来る服装、室内シューズ、髪は束ねる等各自で心がけること ・グループ活動が多いので欠席はしないように気を付けること 	